（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	第1しょうとく園			
○保護者評価実施期間	令和6年11月19日	～	令和6年11月25日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	54	（回答者数）	50
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日	～	令和7年3月31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	18	（回答者数）	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を配置し、個々の発達特性に応じた、より専門的な支援ができている。	個別支援と集団支援の両方のアプローチから、専門職が関わり、保育との連携も取れている。	保護者の要望もあり、言語聴覚士を増員することで、個別訓練の頻度を増やしていく。
2	園舎老朽化のため、令和４年度に建て替えを行ったが、新しい建物と設備により、より子ども達が安全で楽しく遊べる環境になっている。	園庭に遮光ネットを張る等による熱中症対策や、指導訓練室の指詰め防止機能等、設計時に設備の工夫がなされ、安全対策ができている。	防犯カメラの設置により、けがや事故が起きた時の検証ができるようになっており、今後も安全の配慮や業務改善につなげていく。
3	機能訓練・言語訓練について、在籍児が降園した後の時間で、地域貢献として、在籍児以外の方に以外にも、個別訓練を提供している。	通所支援利用後のフォローとして、訓練を継続しているが、保護者とともに来園されることで、就園・就学後の相談にも対応できている。	職員が増えることで、受け入れの範囲が広がり、より地域のニーズにこたえられるよう、関係機関とも連携していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援センターに求められている中核機能としての取り組みは、まだ不十分。	加算算定要件については、心理職がいないことが要因、そのほか具体的な取り組み内容が整理できていない。	地域の行政機関や事業所に見学案内をする中で、つながりを深めていくことから取り組んでいる。今後は地域のニーズを把握して、できることは何かを考えていく必要がある。
2	通園の時間が保育所等に比べて短いことから、就労されている保護者等からは、利用を見送られている例が多い。	通園範囲は広いことから、送迎時間を含めると、営業時間を超えてしまっているので、時間の延長は難しい。	延長支援の体制を評価されるようになったことから、当施設においても体制を整え、延長支援を実施していく。
3	医療ケア児の受け入れができる体制はあるが、送迎が出来ていない為、入園を見送られているケースもある。	看護師が常時送迎者に乗ることは難しく、バス内での医療ケア対応ができない。	経管栄養の必要な児等、バス内での医療ケアが発生しない児については、別途送迎を考えるとともに、医療機関との連携を具体的に進め、送迎が出来る体制を整えていく。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	第1しょうとく園

公表日　令和7年5月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定員と設備の関係は適切である。 各室とも基準以上の面積で設計されている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導員等加配加算と専門的支援加算を算定できる体制を取っており、配置数は適切である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		靴箱やロッカー、保育いすなどにマークを付けて子どもたちに見てわかるような工夫はしているが、すべての設備が構造化されているとは言えない。多目的トイレはあるが、扉の位置が高く、車いすの方は届きにくい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の、清掃や玩具等の消毒をこまめに行い清潔と衛生を保っている。年齢別の保育だけではなく、他クラスとの合同保育や、縦割り保育など、子どもの特性や、人数に応じて遊ぶことができる空間がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	○		個別での理学療法・作業療法・言語訓練を受けることができる環境を整えている。また、静養室等、状況に応じて、クールダウンできる部屋も備えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		法人全体でQMS（品質マネジメントシステム）活動に取り組んでいる。年に１回の内部監査員からの監査もあり、PDCAサイクルが問題なく行うことが出来ているか確認している。 園内でも、職員会議やリーダー会議、行事等の担当者会議等で、多職種からの意見も反映できるようにしている。 部門ごとに、年間で品質目標を設定し、毎月、全職員で進捗状況を共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年１回の満足度アンケートのほか、行事ごとにアンケートを実施し、意見を伺い、次年度に生かすことができるようにしている。また、保護者会役員様からの意見もうかがい業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		各種会議のほか、全職員に、育成面談や自己報告を行い、職員の改善案や希望等を聞く機会を設け、業務改善を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		1回／３年（R５年度受審）障がい・介護福祉事業支援協会により、第三者評価を受け、業務改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		前年度の振り返りを元に、年間の研修計画を立案し、実施している。ショートスタディや専門職研修等、月数回のペースで内部研修を行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	○		支援プログラム作成・公表手順にのっとり作成し、玄関ロビーに掲示し公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者から「要望書」にご記入いただいたり、車庫訪問や懇談、電話相談等でニーズを把握し、アセスメントも行った上で児童発達支援計画書を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子どもの支援にかかわる職員の意見を反映し、支援会議の中だけでなく、日ごろから子どもにとって最善とは何かを考え意見交換し、支援内容を検討している。	

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画やケース記録を個人別にファイリングし、いつでも職員が見ることができるようにして共有して、計画に沿って支援している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		独自のアセスメントシートや個人記録表を用いて、子どもの目標や行動の状況を確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援会議を行い、５領域を踏まえながら、具体的な内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		行事担当等を決め、チームでプログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		5領域の中で、偏らないようカリキュラムを組んでいる。予定していたプログラムに加え、良案が出てきたときはすぐに取り入れるなど工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動での主な目標はADLの向上、集団活動を通してはコミュニケーション面や社会性の発達を目標に掲げて、支援計画を作成し、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼にて全体で打ち合わせを行い、各部署やクラスごとにも情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員終礼時に特記する園児情報の共有をし、必要に応じて対策等を検討している。また、その都度気付いた点については関係者で共有できている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個人記録表や訓練記録等を毎日記録し、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半期に1度、支援会議を開き、支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援専門員や児童発達支援管理責任者、保育主任や訪問支援員等、子どもの状況を把握した職員が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各市町村ごとの関係機関と連携を取り、支援を行う体制がある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		併行利用や移行に向けてという目的で支援は行っていない。併行利用の実施については、対象地域の連絡協議会で検討する必要がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		アセスメントシートでの情報提供や、見学を伴う引継ぎの実施及び学校で行われる引継ぎ会に参加している。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。		○		自立支援協議会の会議等に参加したり、いくつかの通所支援事業所との連携を図ったりしているが、地域全体の質の向上に向けた取り組みとしては不十分なところがある。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		全員が、１回/年以上は、職員のスキルや経験年数に応じた外部研修を受けることができるように計画し実施している。また、外部から講師を招き、専門性を高める研修を受けている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		地域の要保護児童対策地域協議会及び子ども部会、子育てネットワーク会議に参加している。	
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		年長児を対象に子ども園との交流を設けている。また、フェスタや移動動物園等の行事を催す中で交流の機会を設けている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		普段の連絡ノートや電話連絡のほか、定期的に個人懇談や家庭訪問・進路相談等を実施し、助言や支援を行う中で共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者や職員がきょうだい児と中心に関わるプログラムを行い、家族支援にあたっているほか、保護者会の企画による勉強会に職員が講師として参加している。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○		入園時に重要事項説明書にて、説明を行っているが、支援プログラムについては掲示のみ。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○		保護者から「要望書」にご記入いただいたり、家庭訪問や懇談、電話相談等でニーズを確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		家庭訪問や、懇談時に支援計画書を一緒に見ていただきながら、説明させていただき同意をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		普段の連絡ノートや電話連絡のほか、定期的に個人懇談や家庭訪問・進路相談等を実施し、助言や支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会での活動を通して保護者同士の連携をとっておられる。保護者会の開催にあたり、連携・相談等、支援している。保護者ときょうだい児達が一緒に遊ぶことができる時間を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		定期的な個人懇談、進路相談の機会を設定するとともに、保護者が希望された場合は、専門医の発達相談も受けられる体制を取っている。その他の相談は随時受け入れて対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		年間行事予定、毎月の保育だより、行事案内、メール配信による行事予定、3ヶ月ごとの法人新聞の発行、日々の連絡ノート及びブログにより、情報伝達を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人の個人情報保護規程に基づき、管理できている。また、定期的に研修を行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ルビ振り契約説明書等の作成、多国籍言語に対応できるよう翻訳アプリやメールでの連絡、ひらがなでの連絡ノート記入等で対応している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		令和６年度は、移動動物園を再開し、地域住民にご参加いただいた。また、卒園児との交流を図る祭りの行事も開催した。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	マニュアルを作成し、職員には携帯版を配布している。また、避難訓練は内容を変えながら毎月実施しており、ブログにて保護者にも訓練の様子や内容を発信している。	家族へのマニュアルの周知は未実施。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に、地震・火事・不審者侵入を想定した避難訓練を行っている。また、災害用の食品を実際に子どもたちに提供する取り組みも行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に健康状態に関する書類の提出や聞き取り、管理医師による検診を実施している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		対象児の主治医の指示のもと対応し、園のアレルギー食対応マニュアルに基づき、事故防止対応を行っている。	

非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、周知している。毎月の自主点検や訓練も行っている。環境面では専門業者による点検修理も行っており、安全管理の中で支援を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		入園説明会や保育便り、行事ごとのご案内等で周知している。また、園内のロビーに掲示している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例は、その都度情報共有し、毎月・また半年に１回、データの分析を行っている。事故等を未然に防ぐためにも積極的に報告することを促している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、体制を整えている。全職員を対象に研修を行っているほか、適切なかかわり方や虐待につながるような行為について、毎月の職員会議で意見交換し、権利擁護についての意識を高める取り組みを行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		「身体拘束等適正化のための指針」を策定し、それに基づいて対応している。保護者に説明し、了承を得て個別支援計画書に記載している。	

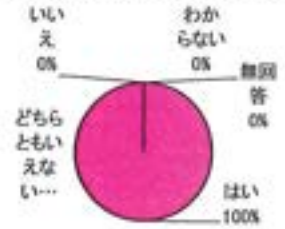
令和7年度　第1しょうとく園　利用者満足度調査に伴う自己評価結果

○評価方法：利用児保護者のアンケート実施（R06.11/19～11/25）、結果集計をもとに自己評価を行う。

○評価項目と結果

アンケート配布数：　54　枚　　回答数：　51　枚　　回収率：　94.4%

①日々の活動の中で、色々な遊びを体験できていると思われますか？

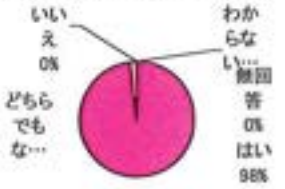


項　目	回答数	割合
はい	51	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

②子育てや支援について話しやすい環境にあり、気軽に相談できますか？

項　目	回答数	割合
はい	39	76.5%
どちらともいえない	11	21.6%
いいえ	0	0.0%
わからない	1	2.0%
無回答	0	0.0%

③個別支援計画及び特別支援計画は適切に作成され、分かりやすく説明がなされていますか？

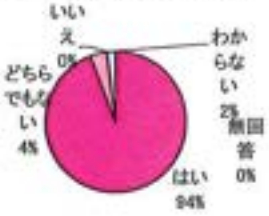


項　目	回答数	割合
はい	50	98.0%
どちらでもない	1	2.0%
いいえ	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

④連絡ノートは、読みやすくわかりやすい内容になっていますか？

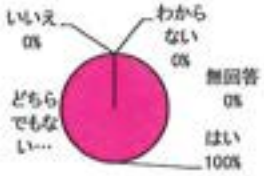
項　目	回答数	割合
はい	49	96.1%
どちらでもない	2	3.9%
いいえ	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

⑤給食のメニューは、栄養面に配慮し色々な食材を使ったメニューになっていると思われますか？



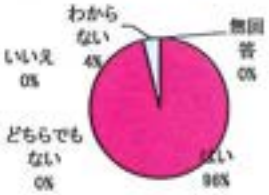
項　目	回答数	割合
はい	48	94.1%
どちらでもない	2	3.9%
いいえ	0	0.0%
わからない	1	2.0%
無回答	0	0.0%

⑥園の設備や生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっていますか？また、子ども達の活動に合わせた空間になっていますか？



項　目	回答数	割合
はい	51	100.0%
どちらでもない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

⑦個人情報が記載された書類やブログの写真の取り扱いには、注意が払われていると思われますか？



項　目	回答数	割合
はい	49	96.1%
どちらでもない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからない	2	3.9%
無回答	0	0.0%

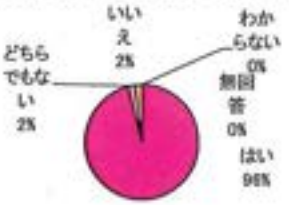
⑧しょうとく園のブログの内容について満足されていますか？

項　目	回答数	割合
はい	42	82.4%
どちらでもない	2	3.9%
いいえ	0	0.0%
わからない	7	13.7%
無回答	0	0.0%

⑨お子様はしょうとく園に喜んで通うことができていますか？

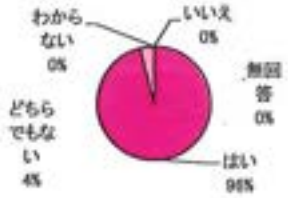
項　目	回答数	割合
はい	48	94.1%
どちらでもない	3	5.9%
いいえ	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

⑩職員の態度やあいさつ、言葉遣いについて満足されていますか？



項　目	回答数	割合
はい	49	96.1%
どちらでもない	1	2.0%
いいえ	1	2.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

⑪しょうとく園を利用されて満足されていますか？



項　目	回答数	割合
はい	49	96.1%
どちらでもない	2	3.9%
いいえ	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

※その他の意見及びまとめ

昨年度に引き続き、子ども達が毎日、通園を楽しみにしていること、職員の接遇態度が気持ちいいこと等、一定の評価を得られている。通園バスの乗車時間が長いことについてもご意見を頂いているが、通園範囲が広く、物理的に短縮がむつかし面もある。言語聴覚士の増員も求められているが、募集をかけても応募がない状況である。（7年度途中より1名配置予定）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人　聖徳園　第1しょうとく園　保育所等訪問支援事業所			
○保護者評価実施期間	令和　6年　10月　21日	～	令和　6年　11月　30日	
○保護者評価実有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数)	20人
○従業者評価実施期間	令和　6年　11月　1日	～	令和　6年　12月　27日	
○従業者評価実有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	7人
○訪問先施設評価実施期間	令和　6年　10月　21日	～	令和　6年　11月　30日	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数)	17人
○事業者向け自己評価作成日	令和　7年　4月　1日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組み等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援センターに通っていた子どもたちだけではなく、地域内の保育所や小学校に通う子どもの保護者、先生方からの希望があれば、すぐに相談に乗る等対応している。	・訪問支援について要望があった場合、保護者からの情報を得ると共に、訪問先施設に了解を得て、児童発達支援管理責任者と担当者が子どもの様子や訪問先の環境を見学させていただく。また、訪問先の先生方からの聞き取りも合わせて行なっている。 その上で、訪問支援の必要性の判断をしたり、困り感に対して相談にのったり等、迅速な対応を行なっている。	・限られたスタッフで訪問支援を行う為に、必要としているケースの対応が直ぐ行える環境を整えていくよう、利用者に対して適切な支援の頻度や支援時間等考慮しながら、新規を受け入れられるよう体制を整えていく。
2	・児童発達支援センターに他職種（相談員・ST・PT・OT・Ns）のスタッフが常駐しており、訪問スタッフがいつでも相談出来る環境がある。	・支援計画の作成や訪問先での専門外の課題で対応に困った時には、他職種のスタッフからアドバイスを受けてより良い支援ができるようにしている。また、専門職（ST・PT・OT・Ns）からの研修を受けて知識の向上を図っている。	・訪問支援員間で勉強会を行ったり、センター内外の研修を受けたりする等、更なる支援員の質の向上に努めていく。
3	・訪問時、保護者や訪問先施設に実施記録を渡し、情報提供を行なっている。	・関係機関と連携を図り、必要に応じて担当者会議に参加し、より良い支援の方向性について話し合う機会を設けることもある。 それにより、保護者・支援先と共通理解をして、支援に繋げることができている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
1	・支援開始前や支援終了後に、職員間での打ち合わせや振り返りが実施できていない時がある。	・営業時間と同時刻に支援先に向かう為、当日の朝は事前打ち合わせは難しい。また、訪問先から帰園の時刻が様々なことや、事務処理を優先しないといけない為、振り返りの時間が取れないことがある。	・前日までには打ち合わせができるように、支援員増員、支援時間の見直し、地域ごとに支援先をまとめる等工夫をし、打合せの時間の確保に努めていく。
2			
3			

公表　事業所における自己評価結果

事業所名　社会福祉法人聖徳園　第1しょうとく園　保育所等訪問支援事業

公表日　令和　7　年　5　月　1　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点、改善が必要と思われる点、等	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	○		・子どもたちに応じた教具教材を用いることで、授業に集中したり、将来必要な力がついたりしていると感じる。子どもたちの支援に繋がり、授業中の過ごし方等、支援先の先生の気付きになっている。	・進級に伴う担任や担当支援員が交替しても、引き継いで継続し支援してもらえるようにしていくことが、今後の課題である。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・今年度支援員3名体制にしたが、それでも年度途中の希望を受ける事ができず、支援者が不足している。	・利用者に対して支援の頻度は適切なのか等、新規の利用者を受け入れられる工夫を検討する必要がある。 ・保護者のニードに合った支援を利用して頂けるよう、人員配置を検討していく。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか。	○		・月に1回、品質目標や支援経過の振り返り、目標の設定を行なっており、会議等では施設長、主任保育士、児発管、児発管補佐も参加し、目標・経過・振り返等について話し合いができている。	
	4	保護者向けの評価表より、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・今年度よりアンケート実施している。支援計画立案の際に保護者から本人の思いを代弁して頂いたり、面談書を確認したり、電話連絡で意向を把握している。	・今年度からアンケート実施だったので今後継続しながら、保護者や支援先の意見を基に業務改善につなげ、利用者の期待に応えていきたい。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・会議の中で、支援時間を有効に確保する為に、どうしたらいいのか話し合いをし改善につなげている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・第三者評価を施設全体で受けている。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・児童発達支援センターの内部研修を受けている。 また、勉強会やケースカンファレンスを行ない、質の向上に繋がっているが、外部の研修参加の機会は多くないため、今後の課題である。	・積極的に外部研修に参加できるようにスケジュール調整を行い、研鑽を積みスキルアップしていく。
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・独自のアセスメントツールを活用し、計画を作成している。個別支援計画書は今後相談支援事業所と共有していく必要性がある。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・担当支援員・その他複数の支援員・児発管と会議等で共有できている。時には相談員に他事業所の様子を聞き取ったり、担当者会議を開き、チームで支援を行なっている。	
	10	保育所等訪問支援計画作成する際には、訪問先施設の担当者と連携し、訪問先施設や担当等の意向を盛り込んでいるか。	○		・時には児発管と共に支援先へ行き実情を把握したり、支援先の意向を聞き、盛り込んだりしながら、支援計画を作成するように努めている。	

適切な支援の提供

11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行なわれているか。	○		・計画に沿って支援している。また、重点的にサポートが必要なケースに関しては、訪問会議で共有している。	
12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・独自のアセスメントシートを使用しており、子どもの状況を把握するにあたり必要な内容のアセスメントシートである。また、病院等の検査結果なども保護者の方から提供してもらい参考にしている。	
13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的に支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインについても勉強会を行ない、内容を理解し支援内容を考えている。	
14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われている。	○		・児発管と共有しながら計画に沿った支援を行なっている。	
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・営業時間と同時間に支援先に向かうので、当日の朝は事前打ち合わせは難しいが、前日までにできるよう工夫している。 ケース会議やセンターの会議への参加は、役割分担できており、他の支援員にも周知している。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。		○	・都々で振り返りはできている。支援員同士は支援先から帰宅後時間があれば振り返りを行い、支援方法を共に共有したり、支援内容や保護者対応について話し合うようにしている。	・職員間で振り返りができる時間を確保することが課題である。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し支援を行っているか。	○		・必ず訪問先の理念や支援方法を尊重している。訪問先とコミュニケーションを取り相談しながら、訪問先の環境や支援方法を考慮し、その中で最善の支援を探索している。	
18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・必ず実施記録を取り、支援の振り返りを行い会議等で検証・改善につなげている。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に1回見直しを行なっている。	
20	障害児相談事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・毎回の訪問支援員や児発管が参画している。	
21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・困り感が強いケースや、保護者も支援や丁寧な対応が必要なケースは特に連携を取っている。	
22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・情報共有を図っているが、相互理解ができにくいケースがあり課題が残る。	・会議等の時間を確保し、多方面から子どもをより深く理解できるよう、関係機関と連携を図っていく等、改善していく必要がある。
23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		ケース会議、勉強会、事業所内研修に参加している。	専門的な助言を受けスキルアップにつなげられるよう、スケジュール調整をし、外部研修を積極的に受けていく必要がある。
24	「自立支援」協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・積極的に参加している。	
25	日頃からこどもの状況を保護者と伝えあい、こどもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか。	○		・必要に応じて電話連絡をしているが、連絡がつきにくい保護者には、手紙を渡えたり、電話連絡を取ったりしている。しかし、業務時間内に連絡がつかない保護者もおり、課題が残る。	・日頃連絡が取りにくい保護者には、電話以外に連絡を取れる方法を検討していき、情報共有がスムーズに行なえるように改善していく。

	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等行っていますか。		○	・行なっていない。	・今後の検討課題である。
関係機関保護者等への説明等	27	運営規定、利用者負担について丁寧な説明をおこなっているか。	○		・契約時、運営規定について説明し、利用者負担については書面でも伝えている。	
	28	訪問先施設に対して、事業の趣旨や訪問支援の目的について適切に説明を行っているか。	○		・パンフレットと共に丁寧に説明している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者の思いは面談書で、子どもの思いは日頃の関わりの中で思いを考慮し作成している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・必要に応じて電話連絡等で行なっている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言を行っているか。	○		・面談だけではなく電話や手紙でも相談にのっている。相談だけではなく、日頃からの様子を伝えたり、できるようになったことや課題などこまめに連絡を取っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・保育所等訪問支援として機会を設けていないが、児童発達支援センターとして機会の確保に努めている。	
	33	こどもや保護者からの相談の申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談の申し入れがあった場合は迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者の方からの相談や申し入れがあった際は、迅速に対応している。	
	34	定期的に通信などを発行することや、HPやSNS等を活用することによっり、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	個人情報の観点から、保育所等訪問支援としては配信していない。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・十分留意している	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		実施記録に加え、より丁寧に支援・伝達が必要な時には、お手紙や電話、家庭訪問で思いを汲み取りながら意思疎通を図っている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・対象児への訪問時、訪問先からの困り事に相談にのり、必要な助言をしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に訪問支援先とカンファレンスを行っているか。	○		・支援先との時間調整がつかないことがあるが、できるだけ話をするようにしている。	・支援先もむしい時間帯であるため、カンファレンスの時間をどう確保するのか今後の課題である。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・実施記録で伝えたり、必要に応じて電話連絡をしたりしている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・十分に留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・相談に対して傾聴し対応するように心がけている。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	・児童発達支援センターのマニュアルあり。保育所等訪問支援は、支援先のマニュアルに従うのであれば、資料として頂いてもいいかと思う。 ・それぞれの支援先にもマニュアルがあるが、訓練には参加していない。	・今後の検討課題である。

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・児童発達支援センターに準じている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		・保育所等訪問支援中のヒヤリハットは滅多無いが、児童発達支援センター内で起こっている事案を、訪問支援中に置き換えて、想定し、対応している。 また、職員終礼などで訪問先で見聞きした事案を職員間で共有している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・児童発達支援センターで委員会を設置し、支援員も参画し虐待防止に努めている。	
	46	どの様な場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定しこどもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、児童支援計画に掲載しているか。	○		・個別支援計画書には掲載していないが、重要事項説明書には掲載しており、契約時に保護者へ説明をしている。	

社会福祉法人
聖徳園

＊ご協力ありがとうございました

公表　保護者からの事業所評価の集計結果

社会福祉法人聖徳園　第1しょうとく園　保育所等訪問支援事業

公表日　令和7　年　5　月　1　日

利用児数 26 名　6年　12月　5日　回収数　20

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	9	0	0	10 未記入1	・支援中は拝見したことが無いのでわかりません。	・教具教材の情報を収集しながら、より良い支援に繋がるように今後も努めます。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	16	0	0	4	・契約の際も個室でしてして下さいました。	・センターでは個室対応ができる設備があります。支援先では、相談させていただき対応させてもらっています。今後ともプライバシーに配慮していきます。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	20	0	0	0	・思います。	
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	18	2	0	0	・相談はありませんが十分に来ていただいています。	・お子様の状況や支援先の都合を踏み頻度や日程や時間を設定しております。保護者の方のご意見やご希望等はいつでもご相談をお受けします。遠慮なく申し出ください。
	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思いますか。	17	1	0	2	・保育園も小規模で先生も元々多いので対応は充分していると思います。	・担当制で訪問に伺っています。センターには他職種のスタッフもおり、保育士では対応が難しい場合は、情報を共有し対応しています。訪問利用を希望される方が多い時期には、お待ちいただくことも有りますが、支援員を増員しながら必要な方のニードにお応えできるように努めてまいります。
適切な支援の提供	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思います。	20	0	0	0	・絵ではなく文字の方が伝わるタイプ等初日で気づき共有してくださいました。	・ヒューマニズムにたって高い専門性を持ち支援ができるよう努力していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問計画(個別支援計画)が設定されていると思いますか。	20	0	0	0	・本当に良く見て下さっています。 ・思います。	・安心して支援をお任せいただけますよう、お子様や保護者に寄り添った支援に努めてまいります。
	8	保育所等訪問支援計画(個別支援計画)には、訪問支援先や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	16	0	0	4	・園や先生とのやり取りは把握しておりません。	・訪問時に直接先生方とお話をしたり、お渡しします実施記録を通しまして、情報共有を行なっております。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体内容」も踏まえながら、具体的な内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	1	・具体的に計画してくださってます。	・個別支援計画書について、ご不明な点や気付きの点がありましたら、いつでもお声掛けください。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援がなされていると思いますか。	20	0	0	0	・思います。	
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	19	0	0	1	・園の事情に合わせてして下さっていると感じてます。	・いつも保育所等訪問支援にご協力をいただきまして、ありがとうございます。
	12	事業所を利用する際に、運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0	・ありました。	・ご不明な点がありましたら、いつでもお声掛けください。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	1	0	0	・されました。	・ご不明な点がありましたら、いつでもお声掛けください。

保護者への説明等	14	事業所で、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	1	8	・研修などはまだ未経験です。	・就学先をご検討の対象のお子様に、学校見学のご案内をお伝えさせていただくことがあります。現在、ご家族にご参加いただける研修等の機会はございませんが開催の節はお知らせいたします。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	20	0	0	0	・支援前後にご連絡くださり細かく共有して下さっています。	・今後も情報共有を行ないながら、日々の支援へと繋げてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	1	0	・親身にしてくださいます。 ・細かく伝えて下さり寄り添ってくださるのでとてもありがたい。	・温かいお言葉を頂戴いたしましてありがとうございます。今後もお子様や保護者が安心して過ごされますよう、支援を行なってまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0	・とても思います	・今後もお子様や保護者に寄り添った支援に努めてまいります。
	18	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	1	・相談に対していつも即対応してくださっています。	・足らない点があるかと思いますが、今後もより良い支援に努めてまいります。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0	・思います。	
	20	事業所は、訪問支援先からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	19	0	0	1	・担任の先生からの話からとても力になって下さっていると思っています。	・今後も支援先と情報共有を行ないながら、引き続き連携に努めてまいります。
	21	保育所等訪問支援を実施した際、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	18	0	0	2	・話されているのは、担任の先生から報告があります。	・訪問時にお渡ししております訪問実施記録におきまして情報共有を行なっております。不足する際は、お電話にて情報共有を行なうこともあります。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	20	0	0	0	・毎回　結果と電話で詳しくして下さっている。	・訪問実施記録にて、毎回支援の様子を共有し、文面では分かりづらい内容においては、お電話でお伝えすることがあります。
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や運営体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	0	0	10	・その面は把握できていません。	・自己評価については、今後ホームページで発信させていただく予定です。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0	・思います。	・情報の取り扱いについては、今後も十分留意していきます。
非常時の対応	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	10	0	0	10	・把握できていません	・センターにはマニュアルがあります。支援先では支援先の指示や対応に合わせます。支援先の緊急時対応についても内容を伺うようにします。
	26	事業所よりこどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	3	・安全面はかなり気遣ってと下さっていると思います。	・保護者や事業所の方々とリスク管理について情報を共有し子どもたちが、安心して過ごせるように注意を払っていきます。
満足度	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	19	1	0	0	・毎回来て下さるのを大喜びで先生のことも大好きです。 ・自分だけの特別な先生が来ると嬉しく思っている	・年齢によって支援に対する受け止め方や周囲の目など受けとめ方に違いがあります。子どもの心情を受け止め気持ちに寄り添い、一人ひとりに応じた支援を行っていきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	・こちらが思ったことをくみ取り、上手に学校に繋いでいただけているので安心しています。 ・大満足です。ありがとうございます。 ・いつも感謝しています。	・今後もお子様一人ひとりに寄り添いながら、よりよい支援に努めてまいります。

公表　訪問先施設からの事業所評価の集計結果

社会福祉法人聖徳園　第1しょうとく園　保育所等訪問支援事業

公表日　7年　5月　1日

訪問先数　20か所　6年　12月　3日　回収数　17件

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	16	1	0	・いつも具体的なアドバイスを戴き実際に取り入れたいと思います。 ・食事時においては、具体的又発達の見通しからの助言を頂き即援助した。 ・運動会の取り組みについて児への支援の仕方や留意点等専門的な視点からアドバイスをもらった。 ・しょうとく園の先生も子どもたちと関わってくれて言い方伝え方などとても勉強になりました。お友達との関係づくりもまた教えて頂きたいと思います。 ・的確なアドバイスを頂いてます。	・温かいお言葉ありがとうございます。 今後も支援先の方々に、より具体的に分かりやすい説明や支援ができるよう心がけるとともに、支援先の方々の話にしっかり耳を傾けていきます。ご不明な点等ありましたら教えてください。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	17	0	0	・児の体の様子や発達に合った関わり方を伝えてもらっている。 ・活動それぞれの見るポイントを教えてもらいました(ご飯をかき込んでいるのはどうなのかなど) ・知識もあり経験豊富な方です。	・ありがとうございます。 今後とも知識・技術の向上を目指し研鑽していきます。お気づきの点がございましたらお声かけください。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	17	0	0	・子供の成長にいち早く気づきその段階に応じて的確なアドバイスをもらえて助かっています。 ・訪問時に直接相談することで、児の姿を見ながら具体的に回答してくれる。 ・大きすぎる声を出してしまう行動についてお友達もびっくりしちゃうねと伝える等改善に向けてのアドバイスを沢山頂きました。 ・いろいろな質問に対して答えてくれます。	・お気づきの点がございましたらご遠慮なく、お声かけください。
4	保育所等訪問支援をを利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	15	2	0	・中々アドバイスを活かせずに進まないことも有って悩んでいます。 ・具体的な助言をいただき頂き、実行に繋げ本児の変容も見られるように　なった。 ・担任間は又は園内で解決できない事を相談出来て支援に繋がる。 ・戴いたアドバイスを元に保育を行っています。 ・子どものエピソードを話すとそれぞれの原因の対処方を詳しく教えてくれています。	・状況やタイミングに応じて支援方法は変わります。対応が難しいことも有ると思います。その都度、先生方の悩みを払拭していけるように、一緒に支援方法を検討させてください。
5	事業所からの支援に満足していますか。	16	1	0	・保護者と園との距離が近くなり連携して支援を行うことができる。 ・大変満足しています。	・至らない点が多々あると思います。子どもたち一人ひとりが、集団の中で日々生き生きと過ごせるように、より一層支援に努めてまいります。

その他、お気付きの点をご記入ください。	ご意見を踏まえた対応
・本園での支援は、クラス集団の設定保育を見ていただき保育者側に助言いただけると思っていた。保護者に向けての助言が主な支援であることが分かり少し落胆しました。園側の支援も欲しいと思いました。こちら側からの困りごとを相談した時には専門職の知識を生かして回答くださるので心強い。対象児の凹凸を埋める為に何が得意で何が不得手なのかを知らせていただきその対処も一緒に提示し、あるいは考えていただけると子ども・支援者・園が一つとなって取り組める気がします。 ・いつも温かく支援児を見守り続けて下さり、良い面や育った面を褒めて認めたりし次へ繋がる助言をいただいている。具体的な支援方法も(食事)教えていただき迷った私たちも、見通しを持って支援を進めているところである。 ・時間帯が色々あるので、一斉指導、給食、トイレ、友達との関りなどそれぞれの場面で話をできることが良いと思います。 ・毎回実施記録の記入が丁寧で分かりやすく児の成長が感じられる。 ・月2回、異なる時間帯に訪問してくださるので、遊びと生活面の両方の相談ができて支援に繋げられる。 ・担当児だけでなくご家族の方にも援助をいただき助けていただいています。 又、以外の手助けが必要な園児に対してもアドバイスいただき、職員一同感謝している程信頼させていただいています。	・貴重なご意見をありがとうございました。残念な気持ちにさせてしまい申し訳ありません。今後は、設定保育等、集団での支援方法を先生方にお伝えさせていただきます。訪問時は、担任や補助の先生方に支援方法をお伝えするのみとなっている部分がありましたので、園長先生にもお伝えすることを心掛けてまいります。今後とも、お気づきの点がありましたら、お伝えいただきまして、より良い支援に繋げてまいりたい所存です。 ・時間帯や回数などこちらの都合に合わせて頂いていることが多いかと存じます。 ご希望がありましたら遠慮なくお声かけください。調整させていただきます。

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	第２しょうとく園			
○保護者評価実施期間	令和6年11月19日	～	令和6年11月25日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	54	（回答者数）	50
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日	～	令和7年3月31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を配置し、個々の発達特性に応じた、より専門的な支援ができている。	個別支援と集団支援の両方のアプローチから、専門職が関わり、保育との連携も取れている。	保護者の要望もあり、言語聴覚士を増員することで、個別訓練の頻度を増やしていく。
2	園舎老朽化のため、令和４年度に建て替えを行ったが、新しい建物と設備により、より子ども達が安全で楽しく遊べる環境になっている。	園庭に遮光ネットを張る等による熱中症対策や、指導訓練室の間詰め防止機能等、設計時に設備の工夫がなされ、安全対策ができている。	防犯カメラの設置により、けがや事故が起きた時の検証ができるようになっており、今後も安全の配慮や業務改善につなげていく。
3	機能訓練・言語訓練について、在籍児が降園した後の時間で、地域貢献として、在籍児以外の方に以外にも、個別訓練を提供している。	通所支援利用後のフォローとして、訓練を継続しているが、保護者とともに来園されることで、就園・就学後の相談にも対応できている。	職員が増えることで、受け入れの範囲が広がり、より地域のニーズにこたえられるよう、関係機関とも連携していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援センターに求められている中核機能としての取り組みは、まだ不十分。	加算算定要件については、心理職がいないことが要因、そのほか具体的な取り組み内容が整理できていない。	地域の行政機関や事業所に見学案内をする中で、つながりを深めていくことから取り組んでいる。今後は地域のニーズを把握して、できることは何かを考えていく必要がある。
2	通園の時間が保育所等に比べて短いことから、就労されている保護者等からは、利用を見送られている例が多い。	通園範囲は広いことから、送迎時間を含めると、営業時間を超えてしまっているので、時間の延長は難しい。	延長支援の体制を評価されるようになったことから、当施設においても体制を整え、延長支援を実施していく。
3	医療ケア児の受け入れができる体制はあるが、送迎が出来ていない為、入園を見送られているケースもある。	看護師が常時送迎者に乗ることは難しく、バス内での医療ケア対応ができない。	経管栄養の必要な児等、バス内での医療ケアが発生しない児については、別途送迎を考えるとともに、医療機関との連携を具体的に進め、送迎が出来る体制を整えていく。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	第２しょうとく園

公表日　令和7年5月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定員と設備の関係は適切である。 各室とも基準以上の面積で設計されている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導員等加配加算と専門的支援加算を算定できる体制を取っており、配置数は適切である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		靴箱やロッカー、保育いすなどにマークを付けて子どもたちに見てわかるような工夫はしているが、すべての設備が構造化されているとは言えない。多目的トイレはあるが、鍵の位置が高く、車いすの方は届きにくい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の、清掃や玩具等の消毒をこまめに行い清潔と衛生を保っている。年齢別の保育だけではなく、他クラスとの合同保育や、縦割り保育など、子どもの特性や、人数に応じて遊ぶことができる空間がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別での理学療法・作業療法・言語訓練を受けることができる環境を整えている。また、静養室等、状況に応じて、クールダウンできる部屋も備えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		法人全体でQMS（品質マネジメントシステム）活動に取り組んでいる。年に１回の内部監査員からの監査もあり、PDCAサイクルが問題なく行うことが出来ているか確認している。 園内でも、職員会議やリーダー会議、行事等の担当者会議等で、多職種からの意見も反映できるようにしている。 部門ごとに、年間で品質目標を設定し、毎月、全職員で進捗状況を共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年１回の満足度アンケートのほか、行事ごとにアンケートを実施し、意見を伺い、次年度に生かすことができるようにしている。また、保護者会役員様からの意見もうかがい業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		各種会議のほか、全職員に、育成面談や自己報告を行い、職員の改善案や希望等を聞く機会を設け、業務改善を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		1回／３年（R５年度受審）障がい・介護福祉事業支援協会により、第三者評価を受け、業務改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		前年度の振り返りを元に、年間の研修計画を立案し、実施している。ショートスタディや専門職研修等、月数回のペースで内部研修を行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラム作成・公表手順にのっとり作成し、玄関ロビーに掲示し公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者から「要望書」にご記入いただいたり、家庭訪問や懇談、電話相談等でニーズを把握し、アセスメントも行った上で児童発達支援計画書を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子どもの支援にかかわる職員の意見を反映し、支援会議の中だけでなく、日ごろから子どもにとって最善とは何かを考え意見交換し、支援内容を検討している。	

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画やケース記録を個人別にファイリングし、いつでも職員が見ることができるようにして共有して、計画に沿って支援している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		独自のアセスメントシートや個人記録表を用いて、子どもの目標や行動の状況を確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援会議を行い、5領域を踏まえながら、具体的な内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		行事担当等を決め、チームでプログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		5領域の中で、偏らないようカリキュラムを組んでいる。予定していたプログラムに加え、良案が出てきたときはすぐに取り入れるなど工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動でのまな目標はADLの向上、集団活動を通してはコミュニケーション面や社会性の発達を目標に挙げて、支援計画を作成し、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼にて全体で打ち合わせを行い、各部署やクラスごとにも情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員終礼時に特記する園児情報の共有をし、必要に応じて対策等を検討している。また、その都度気付いた点については関係者で共有できている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個人記録表や訓練記録等を毎日記録し、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半期に1度、支援会議を開き、支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援専門員や児童発達支援管理責任者、保育主任や訪問支援員等、子どもの状況を把握した職員が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各市町村ごとの関係機関と連携を取り、支援を行う体制がある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		併行利用や移行に向けてという目的で支援は行っていない。併行利用の実施については、対象地域の連絡協議会で検討する必要がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		アセスメントシートでの情報提供や、見学を伴う引継ぎの実施及び学校で行われる引継ぎ会に参加している。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。		○		自立支援協議会の会議等に参加したり、いくつかの通所支援事業所との連携を図ったりしているが、地域全体の質の向上に向けた取り組みとしては不十分なところがある。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		全員が、1回/年以上は、職員のスキルや経験年数に応じた外部研修を受けることができるように計画し実施している。また、外部から講師を招き、専門性を高める研修を受けている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		地域の要保護児童対策地域協議会及び子ども部会、子育てネットワーク会議に参加している。	
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		年長児を対象に子ども園との交流を設けている。また、フェスタや移動動物園等の行事を催す中で交流の機会を設けている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		普段の連絡ノートや電話連絡のほか、定期的に個人懇談や家庭訪問・道路相談等を実施し、助言や支援を行う中で共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者や職員がきょうだい児と中心に関わるプログラムを行い、家族支援にあたっているほか、保護者会の企画による勉強会に職員が講師として参加している。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○		入園時に重要事項説明書にて、説明を行っているが、支援プログラムについては掲示のみ。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○		保護者から「要望書」にご記入いただいたり、家庭訪問や懇談、電話相談等でニーズを確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		家庭訪問や、懇談時に支援計画書を一緒に見ていただきながら、説明させていただき同意をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		普段の連絡ノートや電話連絡のほか、定期的に個人懇談や家庭訪問・道路相談等を実施し、助言や支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会での活動を通して保護者同士の連携をとっておられる。保護者会の開催にあたり、連携・相談等、支援している。保護者ときょうだい児達が一緒に遊ぶことができる時間を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		定期的な個人懇談、道路相談の機会を設定するとともに、保護者が希望された場合は、専門医の発達相談も受けられる体制を取っている。その他の相談は随時受け入れて対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		年間行事予定、毎月の保育だより、行事案内、メール配信による行事予定、3ヶ月ごとの法人新聞の発行、日々の連絡ノート及びブログにより、情報伝達を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人の個人情報保護規程に基づき、管理できている。また、定期的に研修を行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ルビ振り契約説明書等の作成、多国籍言語に対応できるよう翻訳アプリやメールでの連絡、ひらがなでの連絡ノート記入等で対応している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		令和６年度は、移動動物園を再開し、地域住民にご参加いただいた。また、卒園児との交流を図る祭りの行事も開催した。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	マニュアルを作成し、職員には携帯版を配布している。また、避難訓練は内容を変えながら毎月実施しており、ブログにて保護者にも訓練の様子や内容を発信している。	家族へのマニュアルの周知は未実施。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に、地震・火事・不審者侵入を想定した避難訓練を行っている。また、災害用の食品を実際に子どもたちに提供する取り組みも行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に健康状態に関する書類の提出や聞き取り、管理医師による検診を実施している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		対象児の主治医の指示のもと対応し、園のアレルギー食対応マニュアルに基づき、事故防止対応を行っている。	

非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、周知している。毎月の自主点検や訓練も行っている。環境面では専門業者による点検修理も行っており、安全管理の中で支援を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		入園説明会や保育便り、行事ごとのご案内等で周知している。また、園内のロビーに掲示している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例は、その都度情報共有し、毎月・また半年に1回、データの分析を行っている。事故等を未然に防ぐためにも積極的に報告することを促している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、体制を整えている。全職員を対象に研修を行っているほか、適切なかかわり方や虐待につながるような行為について、毎月の職員会議で意見交換し、権利擁護についての意識を高める取り組みを行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		「身体拘束等適正化のための指針」を策定し、それに基づいて対応している。保護者に説明し、了承を得て個別支援計画書に記載している。	

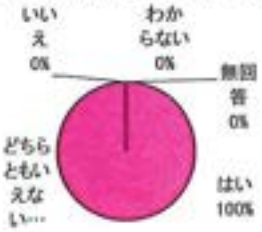
令和7年度　第2しょうとく園　利用者満足度調査に伴う自己評価結果

○評価方法：利用児保護者のアンケート実施（R06.11/19～11/25）、結果集計をもとに自己評価を行う。

○評価項目と結果

アンケート配布数：　21　枚　　回答数：　21　枚　　回収率：　100.0%

①日々の活動の中で、色々な遊びを体験できていると思われますか？

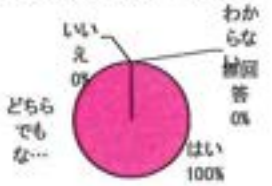


項　目	回答数	割合
はい	21	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

②子育てや支援について話しやすい環境にあり、気軽に相談できますか？

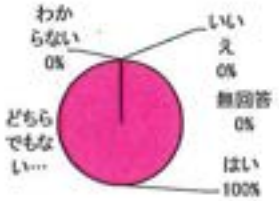
項　目	回答数	割合
はい	20	95.2%
どちらともいえない	1	4.8%
いいえ	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

③個別支援計画及び特別支援計画は適切に作成され、分かりやすく説明がなされていますか？



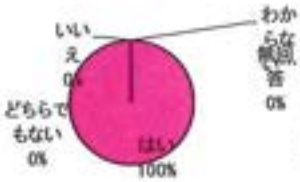
項　目	回答数	割合
はい	21	100.0%
どちらでもない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

④連絡ノートは、読みやすくわかりやすい内容になっていますか？



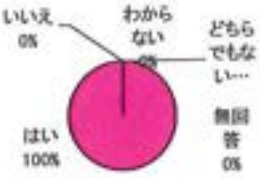
項　目	回答数	割合
はい	21	100.0%
どちらでもない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

⑤給食のメニューは、栄養面に配慮し色々な食材を使ったメニューになっていると思われますか？



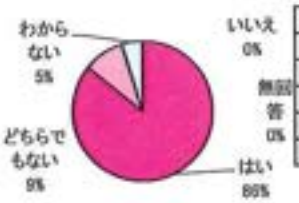
項　目	回答数	割合
はい	21	100.0%
どちらでもない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

⑥園の設備や生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっていますか？また、子ども達の活動に合わせた空間になっていますか？



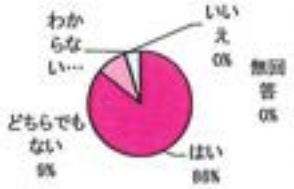
項　目	回答数	割合
はい	21	100.0%
どちらでもない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

⑦個人情報が記載された書類やブログの写真の取り扱いには、注意が払われていると思われますか？



項　目	回答数	割合
はい	18	85.7%
どちらでもない	2	9.5%
いいえ	0	0.0%
わからない	1	4.8%
無回答	0	0.0%

⑧しょうとく園のブログの内容について満足されていますか？

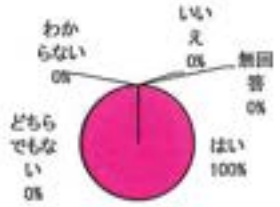


項　目	回答数	割合
はい	18	85.7%
どちらでもない	2	9.5%
いいえ	0	0.0%
わからない	1	4.8%
無回答	0	0.0%

⑨お子様はしょうとく園に喜んで通うことができていますか？

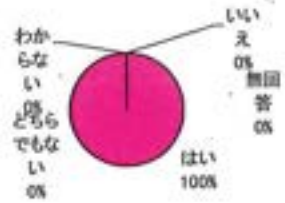
項　目	回答数	割合
はい	20	95.2%
どちらでもない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからない	1	4.8%
無回答	0	0.0%

⑩職員の態度やあいさつ、言葉遣いについて満足されていますか？



項　目	回答数	割合
はい	21	100.0%
どちらでもない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

⑪しょうとく園を利用されて満足されていますか？



項　目	回答数	割合
はい	21	100.0%
どちらでもない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%

※その他の意見及びまとめ

昨年度に引き続き、子ども達が毎日、通園を楽しみにしていること、職員の接遇態度が気持ちいいこと等、一定の評価を得られている。通園バスの乗車時間が長いことについてもご意見を頂いているが、通園範囲が広く、物理的に短縮がむつかし面もある。言語聴覚士の増員も求められているが、募集をかけても応募がない状況である。（7年度途中より1名配置予定）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人聖徳園　第２しょうとく園 保育所等訪問支援事業所			
○保護者評価実施期間	令和　6 年　10月　21日	～	令和　6年　11月　30日	
○保護者評価実有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数)	25人
○従業者評価実施期間	令和　6 年　11月　1日	～	令和　6年　12月　27日	
○従業者評価実有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	7人
○訪問先施設評価実施期間	令和　6 年　10月　21日	～	令和　6年　11月　30日	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数)	16人
○事業者向け自己評価作成日	令和　7 年　4月　1日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待される事	工夫していることや意識的に行っている取組み等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援センターに通っていた子どもたちだけではなく、地域内の保育所や小学校に通う子どもの保護者、先生方からの希望があれば、すぐに相談に乗る等対応している。	・訪問支援について要望があった場合、保護者からの情報を得ると共に、訪問先施設に了解を得て、児童発達支援管理責任者と担当者が子どもの様子や訪問先の環境を見学させていただく。また、訪問先の先生方からの聞き取りも合わせて行なっている。 その上で、訪問支援の必要性の判断をしたり、困り感に対して相談にのったり等、迅速な対応を行なっている。	・限られたスタッフで訪問支援を行う為に、必要としているケースの対応が直ぐ行える環境を整えていくよう、利用者に対して適切な支援の頻度や支援時間等考慮しながら、新規を受け入れられるよう体制を整えていく。
2	・児童発達支援センターに他職種（相談員・ST・PT・OT・Ns）のスタッフが常駐して　おり、訪問スタッフがいつでも相談出来る環境がある。	・支援計画の作成や訪問先での専門外の課題で対応に困った時には、多職種のスタッフからアドバイスを受けてより良い支援ができるようにしている。また、専門職（ST・PT・OT・Ns）からの研修を受けて知識の向上を図っている。	・訪問支援員間で勉強会を行ったり、センター内外の研修を受けたりするなど、更なる支援員の質の向上に努めていく。
3	・訪問時、保護者や訪問先施設に実施記録を渡し、情報共有を行なっている。	・関係機関と連携を図り、必要に応じて担当者会議に参加し、より良い支援の方向性について話し合う機会を設けることもある。 それにより、保護者・支援先と共通理解をして、支援に繋げることができる。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
1	・支援開始前や支援終了後に、職員間での打ち合わせや振り返りが実施できていない時がある。	・営業時間と同時刻に支援先に向かう為、当日の朝は事前打ち 合わせは難しい。また、訪問先から帰園の時刻が様々なことや、事務処理を優先しないといけない為、振り返りの時間が取れないことがある。	・前日までには打ち合わせができるように、支援員増員、支援時間の見直し、地域ごとに支援先をまとめる等工夫をし、打合せの時間の確保に努めていく。
2			
3			

公表　事業所における自己評価結果

公表日　令和　7　年　　5　月　　1日

事業所名　　社会福祉法人聖徳園　第2しょうとく園　保育所等訪問支援事業

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点、改善が必要と思われる点、等	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	○		・子どもたちに応じた教具教材を用いることで、授業に集中したり、将来必要な力がついたりしていると感じる。子どもたちの支援に繋がり、授業中の過ごし方等、支援先の先生の気付きになっている。	・進級に伴う担任や担当支援員が交替しても引き続き継続し、支援してもらえるようにしていく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・今年度支援員3名体制にしたが、それでも年度途中の希望を受ける事ができず、支援者が不足している。	・利用者に対して支援の頻度は適切なのか等、新規の利用者を受け入れられる工夫を検討する必要がある。 ・保護者のニードに合った支援を利用して頂けるよう、人員配置を検討していく。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか。	○		・月に1回、品質目標や支援経過の振り返り、目標の設定を行なっており、会議等では施設長、主任保育士、児発管、児発管補佐も参加し、目標・経過・困り感等について話し合いができている。	
	4	保護者向けの評価表より、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・今年度よりアンケート実施している。支援計画立案の際に保護者から本人の思いを代弁して頂いたり、要望書を確認したり、電話連絡で意向を把握している。	・今年度からアンケート実施だったので今後継続しながら、保護者や支援先の意見を基に業務改善につなげ、利用者の瞬時に応えていきたい。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・会議の中、支援時間を有効に確保する為にどうしたらいいのか話し合いをし改善につなげている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・第三者評価を施設全体で受けている。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・児童発達支援センターの内部研修を受けている。 また、勉強会やケースカンファレンスを行ない、質の向上に繋がっているが、外部の研修参加の機会は多くないため、今後の課題である。	・積極的に外部研修に参加できるようにスケジュール調整を行い、研鑽を積みスキルアップしていくことが必要。
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・独自のアセスメントツールを活用し、計画を作成している。個別支援計画書は今後相談支援事業所と共有していく必要性がある。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・担当支援員・その他複数の支援員・児発管と会議等で共有できている。時には相談員に他事業所の様子を聞き取ったり、担当者会議を開き、チームで支援を行なっている。	
	10	保育所等訪問支援計画作成する際には、訪問先施設の担当者と連携し、訪問先施設や担当等の意向を盛り込んでいるか。	○		・時には児発管と共に支援先へ行き実情を把握したり、支援先の意向を聞き、盛り込んだりしながら、支援計画を作成するように努めている。	

適切な支援の提供

11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行なわれているか。	○		・計画に沿って支援している。また、重点的にサポートが必要なケースに関しては、訪問会議で共有している。	
12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・独自のアセスメントシートを使用しており、子どもの状況を把握するにはこと足りる内容のアセスメントシートである。また、病院等の検査結果なども保護者の方から提供してもらい参考にしている。	
13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドライの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的に支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインについても勉強会を行ない、内容を理解し支援内容を考えている。	
14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われている。	○		・児発管と共有しながら計画に沿った支援を行なっている。	
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・営業時間と同時刻に支援先に向かうので、当日の朝は事前打ち合わせは難しいが、前日までにできるよう工夫している。 ケース会議やセンターの会議への参加は、役割分担できており、他の支援員にも周知している。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。		○	・昼休で振り返りはできている。支援員同士は支援先から帰園後時間があれば振り返りを行い、支援方法を共に共有したり、支援内容や保護者対応について話し合うようにしている。	・職員間で振り返りができる時間を確保することが課題である。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し支援を行っているか。	○		・必ず訪問先の理念や支援方法を尊重している。訪問先とコミュニケーションを取り相談しながら、訪問先の環境や支援方法を考慮し、その中で最善の支援を提案している。	
18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・必ず実施記録を取り、支援の振り返りを行い会議等で検証・改善につなげている。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に1回見直しを行なっている。	
20	障害児相談事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・当日の訪問支援員や児発管が参画している。	
21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・困り感が高いケースや、保護者も支援や丁寧な対応が必要なケースは特に連携を取っている。	
22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・情報共有を図っているが、相互理解ができにくいケースがあり課題が残る。	・会議等の時間を確保し、多方面から子どもをより深く理解できるよう、関係機関と連携を図っていく等、改善していく必要がある。
23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		ケース会議、勉強会、事業所内研修に参加している。	専門的な助言を受けスキルアップにつなげられるよう、スケジュール調整をし、外部研修を積極的に受けていく必要がある。
24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・積極的に参加している。	
25	日頃からこどもの状況を保護者と伝えあい、こどもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか。	○		・必要に応じて電話連絡をしているが、連絡がつきにくい保護者には、手紙を添えたり、電話連絡を取ったりしている。しかし、業務時間内に連絡がつかない保護者もおり、課題が残る。	・日頃連絡が取りにくい保護者には、電話以外に連絡を取れる方法を検討していき、情報共有がスムーズに行なえるように改善していく。

	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等行っていますか。		○	・行なっていない。	・今後の検討課題である。
関係機関保護者等への説明等	27	運営規定、利用者負担について丁寧な説明をおこなっているか。	○		・契約時、運営規定について説明し、利用者負担については書面でも伝えている。	
	28	訪問先施設に対して、事業の趣旨や訪問支援の目的について適切に説明を行っているか。	○		・パンフレットと共に丁寧に説明している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者の思いは面談等で、子どもの思いは日頃の関わりの中で思いを考慮し作成している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・必要に応じて電話連絡等で行なっている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言を行っているか。	○		・面談だけではなく電話や手紙でも相談にのっている。相談だけではなく、日頃からの様子を伝えたり、できるようになったことや課題などこまめに連絡を取っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・保育所等訪問支援として機会を設けていないが、児童発達支援センターとして機会の確保に努めている。	
	33	こどもや保護者からの相談の申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談の申し入れがあった場合は迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者の方からの相談や申し入れがあった際は、迅速に対応している。	
	34	定期的に通信などを発行することや、HPやSNS等を活用することによっり、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	個人情報の観点から、保育所等訪問支援としては配信していない。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・十分留意している	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		実施記録に加え、より丁寧に支援・伝達が必要な時には、お手紙や電話、家庭訪問で思いを汲み取りながら意思疎通を図っている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・対象児への訪問時、訪問先からの困り事に相談にのり、必要な助言をしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に訪問支援先とカンファレンスを行っているか。	○		・支援先との時間調整がつかないことがあるが、できるだけ話をするようにしている。	・支援先もたしい時間帯であるため、カンファレンスの時間をどう確保するのか今後の課題である。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・実施記録で伝えたり、必要に応じて電話連絡をしたりしている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・十分に留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・相談に対して傾聴し対応するようにが行っている。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	・児童発達支援センターのマニュアルあり。保育所等訪問支援は、支援先のマニュアルに従うのであれば、資料として頂いてもいいかと思う。 ・それぞれの支援先にもマニュアルがあるが、訓練には参加していない。	・今後の検討課題である。

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・児童発達支援センターに準じている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		・保育所等訪問支援中のヒヤリハットは微笑無いが、児童発達支援センター内で起こっている事案を、訪問支援中に置き換えて、想定し、対応している。 また、職員会議などで訪問先で見聞きした事案を職員間で共有している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・児童発達支援センターで委員会を設置し、支援員も参画し虐待防止に務めている。	
	46	どの様な場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定しこどもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、児童支援計画に掲載しているか。	○		・個別支援計画書には掲載していないが、重要事項説明書には掲載しており、契約時に保護者へ説明をしている。	

社会福祉法人
聖徳園

＊ご協力ありがとうございました

公表　保護者からの事業所評価の集計結果

社会福祉法人聖徳園　第2しょうとく園　保育所等訪問支援事業

公表日　令和　7年　5月　1日

利用児数 34名　6年　12月　5日　回収数　25件

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	12	1	0	12	・色々な教具教材が用意されていて子どもも楽しく過ごせています。	・教具教材の情報を収集しながら、より良い支援に繋がるように今後も努めます。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	20	0	0	5		・センターでは個室対応ができる設備があります。支援先では、相談させていただき対応させてもらっています。今後ともプライバシーに配慮していきます。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	24	0	0	1	・学校サイドは、この制度を理解していない。先生が言っていた、？だと	・事業所先にも方も支援に付いて丁寧にお伝えしながらご理解いただき進めていきたいと思います。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	24	1	0	0		・お子様の状況や支援先の都合を踏み頻度や日程や時間を設定しております。保護者の方のご意見やご希望等はいつでもご相談をお受けします。遠慮なく申し出ください。
	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思いますか。	22	1	0	2	・現在月1回の支援ですが、必要性を感じた時に支援をもう少し受けられたら良いなと思った事があります。	・担当制で訪問に伺っています。センターには他職種のスタッフもおり、保育士では対応が難しい場合は、情報を共有し対応しています。訪問利用を希望される方が多い時期には、お待ちいただくことも有りますが、支援員を増員しながら必要な方のニードにお応えできるように努めてまいります。
適切な支援の提供	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思います。	25	0	0	0	・よく知ってくださっているので安心しています。 ・支援に入ってもらってから悩みは減りました。	・子ども一人ひとりに丁寧に寄りおい、状況に合わせた支援に努めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問計画(個別支援計画)が設定されていると思いますか。	24	0	0	1	・子どもの支援とご対応は充分していただいています。子への理解と親へのフォローを丁寧にして頂いてありがたいです。	・安心して支援をお任せいただけますよう、お子様や保護者に寄り添った支援に努めてまいります。
	8	保育所等訪問支援計画(個別支援計画)には、訪問支援先や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	19	1	0	5	・担任の先生がどう考えているか思っているか知らないね ・先生のニーズを聞いたことが無いので	・訪問時に直接先生方とお話をし実施記録を通して、情報共有を行なっております。今後も意向を反映しながら課題解決に繋げていきたいと思います。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体内容」も踏まえながら、具体的な内容が設定されていると思いますか。	21	0	0	4		・個別支援計画書について、ご不明な点やお気付きの点がありましたら、いつでもお声掛けください。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援がなされていると思いますか。	23	1	0	1	・授業中に声をかけてもらい集中できるようにしてもらっています。 ・支援以外にも保護者の要望に添っていただいています。	・今後もお子様の様子や状況に合わせて支援に努めてまいります。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	24	0	0	1		・いつも保育所等訪問支援にご協力をいただきまして、ありがとうございます。
	12	事業所を利用する際に、適正検定、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0		・ご不明な点がありましたら、いつでもお声掛けください。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	2	1	0		・ご不明な点がありましたら、いつでもお声掛けください。

保護者への説明等	14	事業所で、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	1	12	・勉強会があれば参加したいなと思います。	・就学先をご検討の対象のお子様に、学校見学のご案内をお伝えさせていただくことがあります。現在、ご家族にご参加いただける研修等の機会はございませんが開催の節はお知らせいたします。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	25	0	0	0	・丁寧に電話もしてくださいます。 ・定期的によく連絡をくれるのでいろいろと相談できる。	・今後も情報共有を行ないながら、日々の支援へと繋げてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	3	1	0	・困った際に適切なアドバイスをいただけています。 ・定期的によく連絡をくれるのでいろいろと相談できる。 ・私の方から電話します。	・温かいお言葉を頂戴いたしましてありがとうございます。今後もお子様や保護者が安心して過ごされますよう、支援を行なってまいります。ご相談がございましたら、いつでもご連絡をお待ちしております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	0	・共感的かつ、先々のことも見越しつつアドバイス等を頂いています。家でも実践できます。 ・定期的によく連絡をくれるのでいろいろと相談できる。	・今後もお子様や保護者に寄り添った支援に努めてまいります。
	18	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	0	0	2	・定期的によく連絡をくれるのでいろいろと相談できる。	・足らない点があるかと思いますが、今後もより良い支援に努めてまいります。
	19	こどもや保護者との定期の連絡や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1	0	0		
	20	事業所は、訪問支援先からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	22	1	0	2	・学校、訪デイ連携がとれています。	・学校や放課後等デイサービスでのお子様の様子を情報共有してくださりありがとうございます。状況に応じて、今後も連携に努めてまいります。
	21	保育所等訪問支援を実施した際、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	20	1	0	3 無回答1	・話し合いというよりも質問攻めだと思います。	・訪問時にお渡ししております訪問実施記録におきまして情報共有を行なっております。不足する際は、お電話にて情報共有を行なうこともあります。今後も相談させていただきながら、より良い支援に努めてまいります。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	25	0	0	0		
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や運営体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	0	12	・私がSNSの情報を取りにいかない。	・自己評価については、今後ホームページで発信させていただく予定です。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	1		・情報の取り扱いについては、今後も十分留意していきます。
非時の対応	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	15	0	0	10		・センターにはマニュアルがあります。支援先では支援先の指示や対応に合わせます。支援先の緊急時対応についても内容を伺うようにします。
	26	事業所よりこどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	0	5		・保護者や訪問先の方々とリスク管理について情報を共有し子どもたちが、安心して過ごせるように注意を払っていきます。
満足度	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	23	0	2	0	・毎回先生に会えるのを楽しみにしています。 ・4年生なので少しあじらいはありますが嫌がってません。 ・頑張っている姿を褒めて欲しいので喜んでいると思います。 ・子どもは先生の訪問を楽しみにしています。 ・すごくよろこんでいます。	・年齢によって子どもが支援に対する受け止め方や周囲の目など捉え方が違います。子どもの心情を受け止め気持ちに寄り添い、一人ひとりに応じた支援を行っていきます。

	28	事業所の支援に満足していますか。	25	0	0	0	・担任の先生に言いにくい不安も親身になって聞いてもらっています。学校生活に不安が少ないのは先生のおかげです。 ・相談ができるので大変満足している。 ・今後もよろしくお願いします。	・今後もお子様一人ひとりに寄り添いながら、より良い支援に努めてまいります。

公表　訪問先施設からの事業所評価の集計結果

社会福祉法人聖徳園　第2しょうとく園　保育所等訪問支援事業

公表日　7 年　5月　1日

訪問先数　17か所　6年　12月　3日　回収数　16件

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	16	0	0	・対象児の目標を共有させてもらえ様子について一緒に考えていただきありがたい。 ・優し話し方で適切に助言して頂き助かっています。	・温かいお言葉ありがとうございます。 今後もよりよい支援に繋がるようにご相談させていただくことも有るかと思いますが、よろしくお願いします。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	16	0	0	・穏かで温かく見守っていただき安心しています。	・ありがとうございます。 今後とも知識・技術の向上を目指し研鑽していきます。お気づきの点がございましたらお声かけください。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	16	0	0	・気軽に相談しやすい雰囲気で対応して下さり連携しやすい。 ・困りごとを相談させていただくと親身になって考えてくださいます。	・お気づきの点がございましたらご遠慮なく、お声掛けください。
4	保育所等訪問支援をを利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	13	3	0	・子どもの課題はすぐに目に見えて解消されるものではないのですが長い目で見ると軽減されています。 ・正直分からないです。 ・保護者の思いを訪問支援の方から聞くことができてありがたい。	・保育所等訪問支援にご理解ご協力いただきまして、ありがとうございます。お忙しい中時間を頂戴しましてありがとうございます。困りごとの軽減に繋がるように、検討を続けてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	14	2	0	・支援について教えていただける時間があればよい。 ・ここの「支援」がどういうものかわからないです。	・訪問時にお伝えさせていただけることがありましたら、いつでもお声掛けください。

その他、お気付きの点をご記入ください。	ご意見を踏まえた対応
・学校と保護者の意見交流の促進に繋がっている。 ・学校外での保護者、児童の様子を共有していただき参考になります。 ・いつも子どもの様子を細かく見ていただき、また沢山のご助言ありがとうございます。 ・当該児童及び保護者の思いを受け止め、本校への訪問支援を通じて、本校の思いや考えを伝えることによって、再び当該児童と保護者にフィードバックしていただいております。そのおかげで大変学校にとっても有りがたい存在になっています。 ・支援員さんと担当教員が情報交換できる場をじっくり持てるといいのですが、いつも学校現場があわただしくて申し訳ありません。 ・学校側が上手く時間を合わせられず、せっかく訪問いただいているのに、十分なお話をじっくり聞かせていただいたりする時間をとることができておらず大変申し分けなく思っています。	・温かいお言葉をいただき又、お忙しい中、ご理解ご協力いただきましてありがとうございます。 授業時間内は勿論休み時間も休む暇なく、子どもたちの為に動いておられ、お話をする時間が持てないのは当然です。先生方のご都合がよろしければ、私たちの方からご都合の良いお時間に電話等させていただくことも可能です。お申し出ください。 ・先生方から頂く情報は子どもの支援に欠かすことができません。先生方と相談しながら情報を密に共有させていただきながら進めていきたいと思います。 今後ともよろしくお願いします。